

政策シート

(政策名) 園・学校や教師の力の向上

(予算費目名) 教育指導費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつづくり

◇政策の概要

小中学校における指導の充実を図るため、指導主事や教科領域等指導員による学校訪問や新学力調査を実施するとともに教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行う。また、教育研究校を指定し、教育委員会が示す研究の概要と自校の課題を踏まえて、研究を推進し、成果を発表する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	15,424	14,986	17,709
決算	12,462	12,635	
人件費(A)	142,100	146,300	142,800
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	154,562	158,935	160,509

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
研究指定校の数(校)	校	8	目標	7	7	7
			実績	8	7	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

小中学校における指導の充実を図るため、指導主事や教科領域等指導員による学校訪問や新学力調査を実施するとともに教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行う。また、教育研究校を指定し、教育委員会が示す研究の概要と自校の課題を踏まえて、研究を推進し、成果を発表する。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- 小中学校における指導の充実を図るため、指導主事や教科領域等指導員による学校訪問や新学力調査を実施した。
- 教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行った。
- 教育研究校を指定し、教育委員会が示す研究の概要と自校の課題を踏まえて、研究を推進し、成果を発表した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	教育研究・指導事業				○	124,778	12,778	16.0				
2	教育指導運営経費(一般諸経費のみ)					35,731	4,931	4.0			1.0	
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						160,509	17,709	20.0			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 教育研究・指導事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 子供たち一人ひとりに基礎・基本を定着させるとともに「生きる力」を育むため、授業の充実・改善と専門職としての教職員の資質向上を図る。
 【事業対象】 市内小中学校・高等学校の教職員

◇事業の概要

小中学校における指導の充実を図るため、指導主事や教科領域等指導員による学校訪問や新学力調査を実施するとともに教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行う。また、教育研究校を指定し、教育委員会が示す研究の概要と自校の課題を踏まえて、研究を推進し、成果を発表する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S30		一般会計	自治事務(その他)		—		○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	9,549	9,629	12,778
	決算	8,220	8,207	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	8,220	8,207	12,778
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		107,100	112,000	112,000
人工	正規	15.3	16.0	16.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
研究指定校の数(校)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	7	7	7			8
実績値	8	6				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
指定校の成果発表に参加した小・中学校の数(校)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	149	149	142			149
実績値	149	146				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

小中学校における指導の充実を図るため、指導主事や教科領域等指導員による学校訪問や新学力調査を実施するとともに教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行う。また、教育研究校を指定し、教育委員会が示す研究の概要と自校の課題を踏まえて、研究を推進し、成果を発表する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・小中学校における指導の充実を図るため、指導主事や教科領域等指導員による学校訪問や新学力調査を実施した。
- ・教育研究の奨励、社会科副教材「のびゆく浜松」の編集、発行を行った。
- ・教育研究校を7校指定し、教育委員会が示す研究の概要と自校の課題を踏まえて、研究を推進した。
- ・教育研究指定校のうち、指定2年目の3校で研究成果を発表した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

研究発表校の指定校数を見直すとともに、生徒指導の研究指定を行う。

事業シート (事業名) 教育指導運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S30		一般会計	自治事務(その他)		—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	5,875	5,357	4,931
	決算	4,242	4,428	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,242	4,428	4,931
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		35,000	34,300	30,800
人工	正規	3.8	3.7	4.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	3.0	3.0	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 園・学校や教師の力の向上

(予算費目名) 教育センター費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

「浜松市の目指す教育の姿」における「目指す子供の姿」実現のため、「目指す教職員の姿」である愛情と情熱を持ち続ける教職員、専門性と指導力を磨き続ける教職員の育成を図る。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	35,433	33,837	30,952
決算	28,984	26,927	
人件費(A)	90,400	90,400	90,400
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	119,384	117,327	121,352

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
研修参加者の満足度 (%)	%	80	目標	70	70	75
			実績	58	79	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

「浜松市の目指す教育の姿」における「目指す子供の姿」実現のため、「目指す教職員の姿」である愛情と情熱を持ち続ける教職員、専門性と指導力を磨き続ける教職員の育成を図る。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

教職員研修事業では、年間研修計画に基づいた分野別の研修等を実施し、述べ17,644人の研修参加者があり、資質の向上を図った。また、浜松市独自の教員免許状更新講習を実施し、413人が受講した。アンケートによる研修参加者の満足度を指標としており、研修分類によって満足度が得られやすいものと得られにくいものがある。政策の指標における満足度は、昨年度58%に対して今年度79%と上昇し目標値70%を上回ったが、事業シート1の情報教育に関する研修参加者の満足度は50%と目標値を下回っている。全体的には研修計画の見直し効果が表れたと考えるが、分野別にみた場合に目標値を下回っている個々の研修に対する対応が今後の課題となる。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	教職員研修事業	○	○	○		86,748	23,748	7.0			5.0
2	教育センター管理運営経費					34,604	7,204	3.0	1.0		1.0
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						121,352	30,952	10.0	1.0		6.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 教職員研修事業

◇事業目的・事業対象

効率的、かつ高度な研修をととして、教職員の資質の向上を図り、教職に就く使命感を高め、指導力の向上を図ることを目的とする。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.36】

従来の研修体系を引き継ぎながら、社会環境の変化、学校現場のニーズに応じた研修を実施する。研修の分類は、経験研修、推薦研修、園・学校経営のための研修、職能を高める研修、各自の力量を高める研修、土曜講座など。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	-	一般会計	自治事務(法令義務)	教育公務員特例法、 浜松市教育センター条例	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	28,282	27,501	23,748
	決算	24,640	23,136	
	国・県支出			
	市債			
	その他	5,559	5,431	5,714
	一般財源	19,081	17,705	18,034
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		63,000	63,000	63,000
人工	正規	7.0	7.0	7.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	5.0	5.0	5.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
研修参加者の満足度 (%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	70	70	75		75	80
実績値	58	79				
情報教育に関する研修参加者の満足度 (%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	70	70	70	75		80
実績値	63	50				
総合戦略施策体系 重点戦略項目No						
36						
総合戦略施策体系 重点戦略項目No						
36						
総合戦略施策体系 重点戦略項目No						
36						
総合戦略施策体系 重点戦略項目No						
36						
総合戦略施策体系 重点戦略項目No						
36						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.36】

従来の研修体系を引き継ぎながら、社会環境の変化、学校現場のニーズに応じた研修を実施する。研修の分類は、経験研修、推薦研修、園・学校経営のための研修、職能を高める研修、各自の力量を高める研修、土曜講座など。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

経験研修(初任者、2・5・10年目)においては、教職経験年数に応じた研修内容となっているため、非常に満足度が高いものになっている。それに対し、教科・領域に関する研修(学校経営、職能、力量等)では、豊かな経験や高い専門性があることから、研修生の求めるものがより高度になるため、研修形態や講義内容が少しでも合致しない場合には満足度が非常に低くなる傾向がある。研修の分類構成において、教科・領域に関する研修が7割以上を占めることから、満足度が低く抑えられていると考えらる。研修全体における満足度は、昨年度58%に対して今年度79%と上昇し目標値70%を上回ったが、情報教育に関する満足度は63%から50%に減少しており、全体的には研修計画の見直し効果が表れたと考えるが、分野別にみた場合に目標値を下回っている個々の研修に対しての対応が今後の課題となる。

・事業の見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 収集・分析 / その他 事業費 現状 人工 現状

研修のアンケート結果を分析し、今後の研修形態や講師選定等について検討した。希望研修の参加者を増やすため、研修ガイドブックにおいて希望研修内容がより伝わりやすくなるように工夫した。また、研修説明会等で希望研修の参加について周知徹底した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 収集・分析 / その他 事業費 現状 人工 現状

教科・領域に関する研修について、目的に合致した研修内容となるように研修のアンケート結果を注視、分析し、今後の研修形態や講師選定等について検討することで、より満足度の高い研修に繋げていく。

平成29年度

(管理番号)
02 02 05 02 005115000 01

(担当課)
教育センター

(責任者)
下鶴 志美

(作成日)
平成 29 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 教職員研修事業

◇事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
36	情報教育の充実 ・情報教育研修 I ~ VII ・教科・領域研修 (情報教育) ・土曜講座 等 (プレゼン研修) (エクセル研修)	情報教育の充実 ・情報教育研修 I ~ V ・教科・領域研修 (情報教育)等	情報教育の充実 ・情報教育研修 I ~ V ・教科・領域研修 (情報教育)等	情報教育の充実 ・情報教育研修 I ~ V ・教科・領域研修 (情報教育)等

事業シート (事業名) 教育センター管理運営経費

◇事業目的・事業対象

施設の適正かつ安心・安全な管理運営を行うことを目的とする。

◇事業の概要

- 1 教職員の研修の場として、充実した研修ができるように環境整備を行う。
- 2 教育センターの建物、設備、研修室等の適正な維持管理運営業務を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市教育センター条例、消防法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	7,151	6,336	7,204
	決算	4,344	3,791	
	国・県支出			
	市債			
	その他	3,763	21	18
	一般財源	581	3,770	7,186
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		27,400	27,400	27,400
人工	正規	3.0	3.0	3.0
	再任用(h31)	1.0	1.0	1.0
	再任用(h26)			
	非常勤	1.0	1.0	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- 1 教職員の研修の場として、充実した研修ができるように環境整備を行う。
- 2 教育センターの建物、設備、研修室等の適正な維持管理運営業務を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

移転改築により平成27年度から現在の教育センターとなっており、施設面において環境整備が行われ、電気設備においても最新の空調機器やLED照明等により、光熱費等の経費節減に効果をあげている。旧教育センターに比べ、規模が大幅に縮小されたため、幼・小・中の全市域を対象とした大規模な研修会等では、隣接する教育会館等を借用することで対応している。また、教育センター単独の研修において、駐車場台数(枠内110台)が限られているため、教育会館駐車場を借用する場合がある。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後、引き続き教育センターの建物、設備、研修室等の適正な維持管理運営業務を行っていく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

教育センターの建物、設備、研修室等の適正な維持管理運営業務を行う中で、更なる経費節減等に努めていく。